

今月の予定

2日(水) お誕生祝膳
3日(木) 節分(豆まき)
11日(金) 建国記念日
23日(水) 天皇誕生日



梅のさと便り 2月号

No. 384 R4. 2. 1
梅光苑 文芸部

緊急なお知らせ

ご利用者への面会一時停止のお願い (まん延防止等重点措置の適用に伴う感染症対策)

当苑では、昨年12月1日より、面会制限の緩和(アクリルボード越しやタブレット面会)を実施して参りました。しかしながら、全国的に感染力の非常に強いオミクロン株の感染者が急増しており、県内でも全域を対象とした「まん延防止等重点措置」が2月1日から20日まで発令されたところです。

当苑といたしましても、「まん延防止等重点措置」の期間と合わせて、面会を一時停止させていただきます。ご協力の程よろしくお願いたします。

引き続き、消毒の徹底と継続した体調管理を行いたいと考えておりますので、皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いたします。

※面会一時停止は、2月1日から20日まで「まん延防止等重点措置」の期間(状況によって延長する場合があります)解除する場合は、改めてご連絡させていただきます。

かわばた邸 2月のイベント情報

毎週 水曜日 10:00~12:00 金曜日 13:30~15:30
百歳体操(元いきいきひろば)

12日(土) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円
みんなでしっかり頭の体操! 楽しく盛り上がりましょう
14日(月) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円
なんでもおしゃべり会 みんなで楽しみましょう

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。ご確認ください。

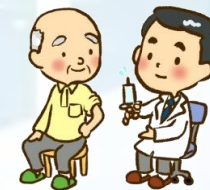
3回目の「新型コロナワクチン接種」を実施しました

国内でのオミクロン株の更なる感染拡大が心配されるなか、国・県では、高齢者施設向け入所者への3回目の「新型コロナワクチン」の接種時期の前倒しを進めているところです。

当苑でも、1月13日(木)、1月27日(木)の2日間、ワクチン接種を、ご利用者及び直接介護に従事する職員に実施しました。

当日は、予診票に既往歴やアレルギーの記入漏れが無いのか、体温や体調を充分確認して接種を行いました。

職員からは「今、一番の心配は、施設の中にコロナを持ち込むことです。ご利用者へ感染させることが不安だったが少し気が楽になりました。でも半面、副反応も怖いですね」と話していた。



「節分」豆まきをご利用者と一緒に行いました

2月3日(木)節分の日、「鬼は外!」「福は内!」苑内に大きな声が響き渡りました。赤鬼、青鬼の聞き覚えのある声に、ご利用者も怖がることなく遠慮なく豆をまき、鬼を退治することができました。豆まきの後は、豆を食べ今年も無病息災を祈願しました。

「節分」とは、本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指しているそうです。周りでは、感染力の非常に強いオミクロン株の感染者が急増しています。これからは体調には十分気を付けて生活したいです。



『最近盛り上がった話やできごと』

特別養護老人ホーム梅光苑

新年早々、釣り談義に花が咲きました

「若い頃から魚釣りが大好きで、定年後も菟沖の見島の『メジナ』を追っかけよった」と話すのは、特養ご利用者のAさん。新年、初釜茶会の席で、皆さんとの「釣り談義」に話が盛り上がりました。

高校の教員を退職後、釣り三昧の生活だったというAさん。これまでの最高の大物は約20年前、見島で釣った45cmの「メジナ」。同島「赤崎旅館」に泊まり込み瀬渡しで釣った一尾だ。もう一匹の大物は、阿武川河口で捕まえた約80cmの「スズキ」。

本人があえて「捕まえた」と満面笑顔なのは、ある時、川岸で釣り糸を垂らしていると背後から「ポトッ」と大きな音。振り返ると草むらに大きなスズキが跳ねていたという。「小魚を追っかけて飛び跳ね、勢い余って岸に落ちこちたんじゃろう。ありゃあ、今でも忘れられん」と振り返る。

「そんな漫画みたいな話があるんじゃないか」「よっぽど腹が減っちゃったじゃろ」、一方で「わしも野島でイシダイ釣りをしちよった。これから桜が咲く頃、乗っ込みで大物が釣れる。懐かしいのう」など、皆さん釣り談義に大いに盛り上がっていました。



グループホーム 希望の里

コロナウイルスの変異株（オミクロン株）が大流行し、第6波が押し寄せ、山口県のみならず全国で感染拡大が止まらない状況にあります。この状況下の中で外出行事も出来ず、室内で体操やレクリエーションを行っている状況です。

少しでも明るい話を利用者様と一緒にする様にしています。希望の里の職員で、小さい子供を育てているお母さん職員が2名います。子育てについて女性利用者様に相談したり、日々の子供の行動を話題にしながら盛り上がりたりしています。子供の話をするると若かりし頃を思い出し、利用者様も生き生きした表情でお話しをされるので回想法にも繋がっており良い傾向にあります。

日々、明るい話題は少ないですが、皆さんが笑顔で過ごせる環境を整える事がわれら介護職の責務と思っておりますので今後も活気溢れる様な話題を提供していきたいと思っております。

居宅介護支援事業所

うちで食べるお餅の食べ方は、きなこやぜんざいなど甘い味付けが定番でしたが、今年のお正月からはいろいろな味付けに挑戦してみました。

ピザソースとチーズでピザ風にしたり、チーズと一緒に焼いてはちみつをかけたり、美味しい発見がありました。

まだまだたくさんの味付けを楽しめそうな可能性を感じています。

もし、おうちにお餅が余っていたら、新しいおいしさとの出会いがあると思うので皆さんにもお勧めです。



梅の里 かわばた邸（地域連携室）

毎週2首の俳句を作ることを今年の目標とされた利用者さん。

最近の句の中から、みんなで盛り上がったものをご紹介します。

『冬タベ 風呂焚き迫りし 少年期』

あ～そうやったそうやった。風呂を沸かすのも薪を拾うのも子供の仕事やったから。よう怒られよった。オガライトが出た時うれしかったよね！！

『老好む 豆腐・蒟蒻 おでんの具』

寒いときはおでんがええよね！こんにゃくも厚揚げもおいしい。大根も卵も欠かせん。ひとりじゃあ焚いたらしばらく食べんといけんのが難じゃけどね～

これからも話題提供の一句をみんなで盛り上がりながら楽しみたいと思います。



デイサービス

デイサービスセンターは毎月の行事で笑顔がはじけます。

12月のクリスマス忘年会は職員の余興をいくつか行いました。特にマジックは驚いたり不思議だったり笑顔が大変多く出ていて盛り上がりしました。

毎月の誕生会では、一年を通しての写真をプレゼントしています。受け取られた方は、どの行事を行ったかなどの思い出話をされながら盛り上がりします。

毎週更新している、介護予防レクリエーションも職員一人一人考え実施しています。職員の個性も出ており、どんな内容か楽しみにされているご利用者様もいらっしゃいます。

2月は節分行事となりますが、今年はどんな節分か今から楽しみにしているという声も頂いています。

例年以上に盛り上がり、悪いものを追い払いコロナも追い払って行けたらと思います。

訪問介護

ご利用者様とお話をしていて、「久しぶりに孫に会えたんよ。しばらく会ってなかったから大きくなってたよ。こういうご時世だから少しの時間しか会えなかったけど、楽しかったよ。またゆっくり会える時がくればいいね。」と嬉しそうに言われました。

明るい話題で話が盛り上がり元気が出るように思います。ゆっくり会える日が早く来るように願っています。

グループホーム 陶ヶ岳

昨年の話になりますが、12月に陶ヶ岳でクリスマス会を行いました。今までは午後から行っていたのですが、今年は午前中から行いました。体操やゲーム、ハンドベルの演奏会を行いました。昼食にはハンバーグを食べ、皆さんめずらしいので喜ばれて、大きな口を開けてかぶりつかれていました。最後にサンタクロースからのプレゼントとケーキにとても喜ばれていました。

